

広報

2006年/平成18年

11月号

—No.8—

くろしお



「田野浦では地元小学生が集まり秋祭りの練習に励んでいました。
撮影：2006（平成18）年10月17日（関連記事6ページ）」

◆今月の主な内容

- | | |
|--|---|
| P.2 ニュージーランド・フェアフィールド
中学校との国際交流 | P.12 健康カレンダー・健康知恵袋 |
| P.5 黒潮町おらんく自慢（奥湊川地区） | P.14 募集・お知らせ |
| P.6 幡多地域大学を考えるシンポジウム開催 | P.17 図書館カレンダー |
| P.7 スポーツの秋・残したい伝統文化 | P.18 備えて安心⑤
～南海地震などあらゆる災害への備え～ |
| P.8 教育委員会便り | P.20 第58回人権週間 |
| P.10 「国民年金・社会保険料（国民年金保険料）
控除証明書」を送付します。 | P.21 水道給水工事指定店 当番一覧表 |
| P.11 介護保険ガイド シリーズ8 | P.22 黒潮町の町章が告示されました。
くろしおっ子を紹介します！・編集子 |

わがまちデータ

〈2006（平成18）年9月30日現在〉

- 人口 14,009人 前月比（23人減）
【男性6,629人 女性7,380人】
- 世帯数 5,770世帯
- 15歳未満の年少人口 1,490人（比率10.6%）
【男性761人 女性729人】
- 65歳以上の高齢人口 4,474人（比率31.9%）
【男性1,790人 女性2,684人】
- 人口のうごき
増加26人 出生 5人 転入 20人 その他 1人
【男1人 女4人】 【男14人 女6人】 【男1人】
減少49人 死亡 18人 転出 31人
【男7人 女11人】 【男14人 女17人】



発行／黒潮町企画振興課

〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1 〈2006（平成18）年11月1日発行 印刷／南宿毛印刷〉

☎0880-43-2111（代表） FAX0880-43-2788

HPアドレス <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> ✉ kikaku@town.kuroshio.lg.jp



旧佐賀町では、国際交流事業の一つとして、町内中学生の海外（ニュージーランド）派遣およびニュージーランド交流団の受け入れを行っていました。

合併後もこの事業が継続することとなり、佐賀中学校、大方中学校からそれぞれ選出された計十二名の生徒たちが八月二十日から同月二十九日にかけてニュージーランドへ旅立ち、異国の言葉や文化などを体感してきました。



イーデン山の頂から望むオークランドの町並み。

また、九月二十三日から同月二十八日までの間には、派遣先であったフェアフィールド中学校から生徒や学校関係者からなる二十七名の交流団が黒潮町を訪れました。滞在中は、町内で

ホームステイをし、佐賀中学校・大方中学校への訪問、塩づくり体験やカツオのタタキ体験、また、着付けや茶道など日本文化の体験を通じて交流を深めました。学校や地域の方々のご協力をいただきながら、言葉や文化の価値観などさまざまな違いがあるなかで、お互いが分かり合えるまでには短い期間ではありましたが、無事に終了することができました。

ニュージーランド派遣レポート

平成十八年度 中学生海外派遣事業に参加して

黒潮町教育長 松並 勝

私たち、中学生十二名（大方佐賀中学校各六名）と引率者四名は、八月二十日から八月二十九日までニュージーランドにおいて、標題の事業に参加をいたしました。

八月二十日、残暑厳しい日本を発った私たちは二十一日午前にニュージーランドに着きました。ニュージーランドでは三十六年ぶりの寒波到来とあって、「大変寒い」と言うのが第一印象で

した。

広大で美しい自然の中に牧場が広がり、牛や羊そして馬が放牧され、黒潮町では絶対に味わえない風景でした。

また、ニュージーランドの先住民「マオリ」の歌や踊り、古くから行われている伝統行事を見学しました。近代的な社会の中で先住民の文化を大切にしているニュージーランドの方々の偉大さも知りました。この「マオリ」の文化は、学校でも色々なところで目にしました。

生徒たちはこのマオリ族の伝統文化に触れて驚きと感動をしたのではないかと思います。

ホームステイでは日本との文化や生活環境が違うことに本当に驚きました。家の中に土足で上がり、食事の時も入浴の時も履き物は昼間からの靴を使用し、リビングルームでもそのままです。靴を抜くのはベッドに上



ニュージーランド先住民マオリの文化や歴史が大切に守られ、現在まで伝えられている。

がったときだけでしたので、私のように昼文化で育ったものには、くつろぐ時間がないように感じました。当然食事の違いも。パンやハンバーガー、ステーキが中心の食事は米が中心の日本とはまさに別世界のものでした。

水道事情が日本ほど良くないニュージーランドでは、入浴もシャワーが主体で、どんなに寒くても余り湯船に入らないことも聞きました。その結果、体調を崩した生徒もいましたが、ステイ先では家族と大変うち解けることができました。

学校訪問初日は、フェアフィールド中学校を訪問し、マオリ式で歓迎を受けました。額と額をくっつけることに驚きました。

翌日には、それぞれの生徒がホームステイ先からフェアフィールド中学校に登校し、隣のセントジョセフ学校の勉強風景を視察しました。この学校は保小中が一緒になった学校であり、教会も敷地内にありました。このセントジョセフ学校見学の後、フェアフィールド中学校に帰り、全校生徒の歓迎を受けることになりました。この中では生徒たちによる多くのパフォーマン스가披露され、大方中学校生徒の「よさこい鳴子踊り」や佐賀中学校の「ソーラン」も披露し、

声も大きく踊りも大変良かったと思います。これを見たフェアフィールド中学校の生徒や先生方からは大きな拍手を頂きました。



フェアフィールド中学校で披露した「ソーラン」は好評でした

学校訪問三日目、全校生徒と共に朝礼に出ました。この朝礼では、一週間の中で成績優秀な生徒が発表され、校長先生から祝福されていました。このような光景はわが町の学校では考えられませんが、このように一週間に一度表彰式があることは子どもたちにとっても励みになりました。大変良いことではないかと感じました。



現地研修の間、生徒たちは積極的に他国の人たちとの交流を図っていたようです。

朝礼の後、生徒たちはそれぞれのクラスに入って勉強にも出席しました。ニュージーランドではクラスの中で机に向かっているもの、床に座っているものなど非常に自由な感じがしました。また休み時間には菓子、ジュースなどの飲食が許されており、黒潮町の生徒たちは、そのことにも驚いたのではないかと思います。黒潮町の生徒たちを学校内で見ているとフェアフィールド中学校の生徒たちとも、うち分けしそうな様子がうかがえました。



学校の中でも、日本とは全く違う様子に皆が驚きました。

フェアフィールド中学校の校舎は広大な敷地の中で平屋建てであり、色々な施設が完備されていました。特にラジオやテレビの放送施設があり、周辺地域二・三キロメートルであれば、この放送を聞くことも可能であ

るとのことでした。

また日本人教師による日本語の勉強風景を視察することが出来ました。この中では九月二十三日に來日する生徒十九人がおり熱心な勉強風景でした。

この事業の所期の目的は、生徒たちが異国の文化や生活に直接肌で触れ、日本との変化に気づき、語学研修をすることによって、少しでも英語力を高め、国際化、情報化社会に対応できる広い視野と感覚を持った人材育成を図ることです。

上記で報告したように目的は一定達成されたのではないかと考えます。古くから伝わる文化を大切にすること。自分たちの英語力がどの程度通じるか。そして家族のありがたさも分かったのではないかと思います。「英語の綴りが分かりにくい」「英語は難しい」と感じていた生徒が「もつと英語を覚えなくてはいけない」とにかく英語頑張る」とか、「将来はニュージーランドへ行きたい」と、この事業に参加したことによって、自分に不足していることや将来の夢を描いています。このことは将来きつと国際化、情報化社会に対応できる広い視野と感覚を持った人材に育ってくれるものと期待しています。

この事業にご協力とご理解を

いただいた多くの皆さんに心から感謝申し上げます。

派遣生徒十二名の感想(抜粋)

「初めての外国の料理は、油っこかったり、味が濃かったり薄かったりでなかなか口に合いませんでした。初日で早くも日本食が恋しかったです。最初怖かった乗馬は、慣れるとすごくおもしろかったです。山の頂上から見るニュージーランドの景色はすごく良かったです。大人になつたらまたニュージーランドに遊びに行きたいし、ホームステイのファミリーに会いに行きたいと思います。」

(大方中学校・松田莉穂)



フェアフィールド中学校では、授業の他、乗馬体験もしました

「一番うれしかったのは、ホストファミリーの人たちが私のことを考えて意見を聞いてくれ

たことです。すごく親切にしてもらって、ちゃんとお礼が言いたかったのに、「サンキューベリーマッチ」としか言えなかったのが残念でした。勉強になったこの十日間を忘れずに、もっと英語を話すことにチャレンジしたいと思いました。」

(大方中学校・坂本雅美)

「印象的だったのは、マオリ族の舌を出す歓迎、威嚇の表現や、顔に描かれた模様です。舌を出すという事は、日本ではあまりいい事ではないけど、歓迎という意味があることにびっくりしました。海外派遣事業に参加して、日本以外の国の事を少しでも知ることができてとてもよかったです。佐賀中学校の人とも仲良くなれたし、ニュージーランドの子とも友達になれました。この経験をいろんな事に生かして、もつといろんな国の事が知れたらいいと思います。」

(大方中学校・森本叶絵)

「国が違ってても交流できるし、友達もできるんだなと思いました。ホームステイが始まってすぐに全て英語だったので、すごく緊張しました。理解することになかなかできなくて困る時もありました。でも、同じ言葉が話せなくても、ジェスチャーや

色々なことをしてコミュニケーションを取ることは大事だなと思います。ちよつとした会話や、遊びには加わるように頑張りました。」

(大方中学校・積島優夏)

「私にとって、この派遣事業は初めての経験もたくさんして、すごくいい経験になりました。研修地やホームステイ先の方々との交流を通して、英語も学んだし、誰もが優しく、楽しく話すこともできて良かったです。普段はできない貴重な体験ができて、本当にいい思い出になったし、この経験を今後に生かしていけたら良いと思います。」

(大方中学校・柿内砂帆)

「今回、海外派遣事業に参加することができて良かったです。日本との文化の違いについて学ぶことができ、ニュージーランドの様々な歴史についても学んでくることができました。私は、黒潮町の派遣生徒十二名の一人として国際交流を深め、私が体験してきたことをたくさんの人に伝えたいし、ぜひ黒潮町の皆さんが外国のことに興味を持つてくれれば良いと思います。そして、これを機会にもっとたくさんの方にチャレンジして欲しいと思います。」

(大方中学校・上岡紗由美)

「ホームステイの人たちは優

しかった。僕のパートナー、マイケルは日本語を勉強するのが好きで、英語をローマ字で日本語に訳してくれるのが、一番印象に残っているのが、マイケルが自分についてきて欲しいときに「キマスクダサイ。」と言っていたことです。「来てください。」と言いたかったんでしようが、意味は分かりました。色々な異文化を学び、僕はこの十日間で少しだが成長したと思う。そして何より仲間の絆、この十二人とニュージーランドに行けてとても良かったです。」

(佐賀中学校・宮地優実)

「この旅が私にとつての初めての海外でした。英語は少ししか話せないけど、自分の今の英語力でどこまでできるのかを知ることができて、とてもいい経験になりました。ニュージーランドの人たちはとても優しくて個性が豊かでした。細かいことは気にしないような大きな心を持っていてとても素敵だと感じました。私の夢はこの海外派遣事業でニュージーランドに行くことでした。次の新しい夢は、英語を話せるようになってニュージーランドに住むことです。この旅でニュージーランドという国が大好きになりました。」

した。」

(佐賀中学校・山中しおり)

「私のステイ先のパートナーはクロエという女の子でした。ステイ中は、いろんな場所に連れて行ってくれたり、たくさん話をしたりと家族みんなが優しくしてくれました。この派遣事業に参加して実際にニュージーランドの文化に触れたり、ホームステイの体験をして、とても良い英語の勉強にもなったと思います。このような貴重な体験ができたのも、黒潮町のおかげなので本当に感謝しています。ありがとうございました。来年も再来年もずっとこの海外派遣事業を後輩にも体験してほしいので、続けていつはほしいと思います。」

(佐賀中学校・森田結衣)

「最初に行ったオークランドという都市は、ニュージーランドで一番大きな所だけど、街の中にたくさん鳥がいて、日本じゃ考えられないと思いました。博物館では、今まで見たことのない生き物を展示していて、これはニュージーランドに行かないと体験できないことだなと思いました。ニュージーランドのことをたくさん知れて良かったです。」

(佐賀中学校・石井朝)



新しくできたニュージーランドの友達と、いつかまた逢えるといいですね。



この経験がみんなの将来にきっと生かされることを期待しています。

「私が一番思い出に残ったことはホームステイでした。五日間のホームステイをしてみても親切にしてみたら、とても異文化体験ができました。英語ももっと分かるように勉強しなければいけないと思いました。海外派遣事業に参加して、とても良かったと思います。一生忘

れられない思い出になりました。」

(佐賀中学校・川村未来)

「マオリのコンサートを見た時、すごくカッコいいなと思い、昔からの文化を大切にしているところがすごいなと思いました。そこには、マオリの人たちの暮らしていた所が森の中に再現さ

れていて、見ているだけでも勉強になりました。私は、この十日間を通して文化や歴史など色々な勉強ができました。すごく貴重な体験ができて、この経験をこれから生かしていきたいです。」

(佐賀中学校・竹中世歩)



ニュージーランドから来た27名(フェアフィールド中学生徒19名と学校関係者ら8名)との交流パーティーにて



奥湊川地区
人口一三七七人・世帯数六三三帯

今回のおらんく自慢では、大方地域の奥湊川地区取材し、自然や住む人たちと触れ合い、発見したことを紹介します。

ここでご紹介できるのはほんの一部ですが、自然も人も本当にたくさん魅力がある所です。



酒井 貞美 区長

◆奥湊川産◆

山間にある奥湊川では、稲作のほか畑で大豆や麦などの農作物が多く作られており、収穫した農作物を使って味噌や豆腐を作っている家庭も多いようです。

区長をしている酒井さんの家でも、米以外に畑ではいろいろな野菜や、小豆や大豆など何種類もの豆、麦などなどたくさん作物が段々畑で作られています。「ほんとにね、何十年も



そばの花が満開でした。庭や畑の花の蜜をミツバチに集めてもらい、蜂ミツも作ります。

前から自然に生かしてもらって生活しようよ、魚やお肉以外はほとんど畑で作ったものを食べようけんね。」と酒井さんの奥さんが言うのとおり、食卓にはほとんど畑のもので作ったおかずが並びます。そして、お茶や味噌、ハチミツや小麦粉まで自家製でした。畑の農作物を使っていたくれました。手間はかかりますが、何でも欲しいものがすぐに手に入る今、目の前の自然の物を使って何から何まで手作りしていたくことに、とても素朴な温かさを感じました。発酵させたこうじに塩を加え、素手で混ぜたり揉んだり作業していると、手がすべすべになったような感じもしました。それが気のせいでもこの初めての経験はうれしくて楽しいものでした。

ここは、自然の中で季節の移り変わりを肌で感じながら生活できる場所です。

◆ツツラ◆

ツツラ(カズラとも言うそうです。)やフジなどのつる草で、籠などの作品を作っているのは元氣な五名の女性グループ、「つるんこ」として道の駅での販売、町内外での籠作り講師、展示会や県町展などへの出展など活発に活動をしています。「ツツラは一つ一つ形も大きさも違う、その一つにしても違うけんね、作っていくのに無限の可能性があつてすぐおもしろいがよ。作りながら作品の形を想像していく感じ。」と、籠作りの楽しさを話してくれました。



作業場には各自が作り上げた作品が並び。

材料となるツツラやフジは皆で山に採りに行くそうです。「私らは道のない危険な場所でも採るけんね。」とのこと、慣れない人にはツツラを探し出すことも難しいうえに、山の中を歩くことも大変そうです。

「暖かい時期はヘビがおるけん避けるけど、一人でも色んな山に取りに行くよ。」と話す酒井蕾さんは、グループの中では最長年者。ですが、皆で山に登っても、人の荷物を持ちどろん先に歩いて行くほどの元氣っぷりで、仲間からとても頼られている存在でした。

とにかく何かを作り出すことが大好きな皆さん、「この技術を広めて、たくさんの人に籠作りの楽しさを知ってもらえたらうれしい。」十一月に行われる町展へも出展予定となっており、今後の活動にも注目です。



左から、森下繁子さん、田辺美苗さん、田辺美智子さん、林広恵さん、酒井蕾さん

◆元氣の秘訣は…◆

奥湊川のとっても元氣なおじいちゃん、おばあちゃんに会ってきました。



たなべ ぶみこ 田辺 典子さん (90歳)

歌とおしゃべりがとっても大好きな田辺典子さん。毎朝の散歩と体操が日課で、俳句や川柳、絵を描いたりと多趣味です。元氣の秘訣は「みんなと仲良しで、歌を歌って明るく楽しくおることです。」と教えてくれました。いつも背負っているリュックには大好きな氷川きよしのバックが光っていました。



はやし ときお 林 辰生さん (90歳)

九十歳になった今でも愛車のバイクでお出かけする林辰生さん。今まで大きな病気もなく元氣でいられた理由を「よく飲むけんねの。」とにっこりと笑顔で答えてくれました。「(草刈り機を使って)草刈るのもまだまだ若いもんじゃ負けんぞ。」と、まだまだ現役の林さんです。

「幡多に大学をつくる会」 幡多地域大学を考える シンポジウム開催

幡多地域には大学などの高等教育機関がないため、教育を受けるために多くの人がふるさとを後にしてきました。以前から幡多地域にも大学を欲しい、という声がありますが、実現にいたっていません。

四年前に「幡多に大学をつくる会」(事務局・宿毛市)が有志によって再結成され、幡多地域で大学教育を受けられる環境づくりのための活動を続けています。

去る九月三十日には、大方あかつき館において、「幡多地域大学を考える」シンポジウムが開催されました。

まず冒頭に、和歌山大学生涯学習教育研究センター長山本健滋教授から、遠隔地教育の拠点として設置した和歌山大学紀南サテライト(学習拠点)の事例について基調報告がありました。

「国立大学法人にとって社会、地域への貢献、生涯学習への貢献は必須の課題である。地域には無数の課題があり、地域や市民(団体)はそれを解決するための学習を求めている。一方和歌山大学には約三百人の研究者

がおり、また背後には研究者の全国的ネットワークがある。センターの仕事は、一般教養的な内容の講座を事業化するよりも、地域、市民の意欲と大学の人材資源を結びつけること。そのこ

とで市民が学び意欲的な地域づくりが始まる。当センターは、地域課題に取り組みようとする自治体や市民事業体、NPOなどの企画提案を受けて、大学の資源と結びつけることによって、地域発展をめざす生涯学習事業を展開し、地域を支援することを目的にしている。」と話されました。

さらに山本教授は、「地方の大学は地域に根ざさなければ存在価値がない。その意味からいっても幡多への大学教育機関設置は意義が大きい。都市型サテライトではなくて、地域整備型サテライトが望ましい。幡多地域はNPO活動が盛んな地であるので、大学にとっては心強い環境である。」と、幡多地域への大学教育機関設置への期待を述べられました。

その後のパネルディスカッションでは、
「大方高校の取り組み事例を見てみると、黒潮町には地域の教育力があると感じる。」
(高知大学副学長松永健二さん)

「学部再編構想の中で遠隔地教育を検討中。」
(高知短期大学将来構想委員長 関根猪一郎さん)

「研究所の職員にも大学で勉強させたいが、大月町からでは高知大学は遠く、時間だけでなく経済的負担も大きい。せめて黒潮町あたりに大学のサテライトがつかれないか。」
(財団法人黒潮生物研究所所長 岩瀬文人さん)

「大方高校を県教育センターの分館として機能させたいの思いから、テレビ会議システムを導入した。これを使ってサテライトとして機能させてはどうか。」
(大方高校校長松原和廣さん)



「人を好きになることが町を好きになる、そのことが生涯学習の基本。黒潮町にはその素地が揃っていると感じている。」
(県教委生涯学習課長濱田久美子さん)

などの意見が出されました。

最後に幡多に大学をつくる会事務局長山下正寿さんが、「以前の活動は幡多への大学誘致が目的だったが、現在の活動は地域が求める大学教育機会の創出、そのためのシステムづくり目標を置いている。皆さんのご協力をお願いしたい。」と事務局からの報告が行われました。

その後の参加者との意見交換では、一般参加された黒潮町選出の高知県議会議員山本広明さんから「幡多地域のテーマに沿った大学の講義は、有意義なものになると感じている。必要であれば県としても財政支援を考えなければいけないと思う。」と感想を述べられました。

また団体の代表者からは、「高等教育機関が地域にできると、外部から人が来る、つまり経済的波及効果は非常に高い。」
(専門学校校長)

「大学と地域の連携でメリットが大きいのは大学生だと思う。」
(NPO法人事務局長)

「大学実現のためには、経営や教員確保など、現実も見据えなくてはいけない。」
(財団法人研究所所長)

など意見が寄せられました。

一般参加者からは、
「高知短大の授業を受けたいと長年思っているが距離的な問題で受けられないでいる。生きている間にその夢を実現したい。」
(六三歳・女性)

「大方高校の聴講生授業で楽しく英語を学んでいる。大学のサテライトができたらぜひ受講したい。」
(五〇歳代・女性)

など、幡多地域への大学教育機関設置に期待する声が多く出されました。

最後に高知大学松永副学長が「幡多に大学をつくる会」という議論の時期は過ぎている。どこからか手をつけて、形にしてい、その段階にきていると思う。」と具体的行動を起こすようにとまとめを行い、シンポジウムを終了しました。

○お問い合わせ
幡多に大学をつくる会事務局
0880-66-1763

スポーツの秋

十月九日は「体育の日」でした。十月七日から九日までの連休中は町内外でさまざまなスポーツの催しが行われました。

●第一回スポレクフェスタ・黒潮

八日、土佐西南大規模公園（大方）体育館・多目的運動場で行われた第一回スポレクフェスタ・黒潮では、グラウンドゴルフ、パークゴルフのほか、梅干しの種とばし、空き缶つみなど簡単で楽しくできるちよつと変わった競技も盛り込まれ、子どもや高齢者の楽しむ姿が見られました。



丸太に片足で立ち、時間を競う「丸太のり」

●第四回くろしおカップ

少年サッカー大会

九日には、土佐西南大規模公園（佐賀地区）東グラウンドで今年第四回目を迎えたくろしお

カップ少年サッカー大会が行われました。町内の小学校から二チーム参加し、秋晴れの中日ごろの練習の成果を発揮していました。



左から大方F C、佐賀少年サッカークラブ

●県民スポーツフェスティバル

自由時間の充実・体力づくりをめざして

県民一人ひとりのスポーツ活動への参加意欲を高めるとともに、生涯スポーツの振興を図ることを目的に「県民スポーツフェスティバル二〇〇六」が県内各会場で開催されました。参加者同士の交流・日頃のとりくみの実践の場として、黒潮町からは八種目に三十一名が参加し健闘しました。各種目の上位入賞者は以下のとおりです。

■九月十七日（日）開催

【陸上競技（春野町）】

●青年男子（団体の部）

準優勝 記録六分

●八百員（青年男子の部）

優勝 田中 智也さん

記録 二分二秒一

●走り幅跳び（青年男子の部）

優勝 田中 智也さん

記録 四メートル九八

●四百員（四〇歳代の部）

優勝 松本 広一さん

記録 一分〇一秒

●準優勝 島津 良将さん

記録 一分一六秒六

●千五百員（五〇歳代の部）

優勝 塩田 充幸さん

記録 四分四二秒七

●三千員（五〇歳代の部）

優勝 塩田 充幸さん

記録 一分〇九秒四

●砲丸投（七〇歳代の部）

優勝 濱中 忠雄さん

記録 五メートル七二

●走り幅跳び（七〇歳代の部）

準優勝 濱中 忠雄さん

記録 二メートル九二

■十月一日（日）開催

【水泳（高知市）】

●五十員 背泳ぎ

優勝 北條 称一さん

記録 四五秒六八

●百員 自由形

準優勝 北條 称一さん

記録 一分二一秒七四
第三位 谷口 省文さん
記録 一分二九秒七九

■十月一日（日）開催

【弓道（高知市）】

●女子の部

準優勝 小橋たか子さん

残りの伝統文化

秋は各地区で秋祭りが行われます。地元では、祭りの際奉納される文化芸能（踊り）が何れ月も前から地域の大人たちによって子どもに伝えられています。

田野浦地区・踊り



田野浦地区では、九月頃から、秋祭りに向けて地元の子どもたちが「さわらい」「花取り」の練習を始めます。「さわらい」の踊りは、今年が初の試みとして女性が踊り子となり、十月二十九日に地元六年生の吉井成美

記録 予選四本・決勝三本

■十月八日（日）開催

【剣道（香南市）】

●女子個人の部（三段以上）

優勝 松本 牧子さん

準優勝 宮地 聖さん

さんと井上優奈さんの二人がみごとな踊りを披露しました。

佐賀地区・鼓踊り



佐賀地区では、十一月の氏神祭りで花取り踊りと鼓踊りが、三月の鹿島大祭には鼓踊りが奉納されます。「地域のたくさんの子どもたちにこの伝統的な文化を伝えたい。」そんな思いから広い範囲で踊り子を集めています。今年から三年間踊り子となった、わずか四歳から六歳までの十四名の子どもたちが一生懸命練習に励んでいました。

教育委員会便り

教育委員会

☎ 43-1059

「たくましく心豊かな 児童の育成」をめざして

佐賀小学校長 芝藤 邦美

今年度の佐賀小学校は、児童数百三十九名（家庭数百六戸）八学級です。児童は、明るく活

動的で、何でもやってみようという積極性を持っています。保護者は、学校への取り組みに協力的で、PTA活動も盛んに行われています。「楽しい学校生活を」や「粘り強い子に」の保護者の願いを受け、「生活」・「学力」・「体力」・「集団」づくりを通して「たくましく心豊かな児童の育成」の教育目標達成に向けて、教職員十六名で、『かわる・きたえる』をキーワードに取り組みを進めています。その中で主なものを紹介します。

◆豊かな体験活動

保護者や地域の方々の協力で、授業の一環として、地域の方とふれあいや栽培活動、職場体験活動、地域学習も積極的に実施しています。PTA組織をあげての取り組みで、子どもたちがとても楽しみにしている「夏祭り」と「収穫祭」を挙げたい

です。これらは、忙しい仕事の合間をぬっての企画、運営、準備にかかる保護者の皆さんと、保護者間や地域の方々のふれあいの場や機会にもなっているようです。



「カツオのたたきづくり体験」

《夏祭り》

今年は、七月二十三日に実施されました。「よいやせ」や「佐賀音頭」などの踊り、ラムネの早飲み大会、〇×クイズ、お化け屋敷に子どもたちの歓声は絶えません。焼きそばやかき氷などの出店には地域の方々も長蛇の列ができる程、夏の一夜を親子みんなで楽しめます。



保護者の皆さんによる出店

《収穫祭》

四月に植えた餅米稲を八月の登校日に刈り取ります。そして、十二月、校内マラソン大会当日に学年単位に餅つきをし、餅ばいをして収穫を喜び合います。



「5・6年生による稲刈り」

◆学力向上策

学校の果たす役割は、学力向上です。本校児童の実態として、昨年度二月に実施した到達度把握調査（CRT）結果を全校平均で見ると、全国標準に対して、算数科では一〇四と上回っていますが、国語科の「話す・聞く」

が九七、「読む」が九九とやや下回っており、ここ三四年四月に実施している体力テストで見ると、判定Aの児童が少ない、という課題があります。

これらは、年々徐々に向上はしていますが、この課題をさらに克服するため、「佐賀っ子一〇の約束」として、聞き方・発表の仕方や鉛筆の持ち方、ノートの手書き、家庭学習などの学習習慣形成や、継続は力なりと、授業前の一〇分間の朝読書・計算・漢字の帯タイムでの基礎学力定着への取り組みなどに、達成目標値を設定して取り組んでいるところとあります。

また、午後三時から五時の戸外での活動の有効性から、不審者対策として昨年度十一月末からしている集団下校までの時間を活用し、放課後の校庭での遊び時間も設けています。

子どもたちの学力向上は、なんとと言っても一時間一時間の授業の充実です。

今年度は、高知県教育委員会から「教への喜び伝承モデル事業研究推進校」の指定を受け、『できるから楽しい授業の創造』を研究主題に、「できる」から「わかる」、そのことで「意欲化」に繋がる授業づくりに、全教員が授業を相互に見せ合ったり、外部講師の指導を受けたりして

『授業力向上』の取り組みを行っています。（来年度二月六日に全学級授業公開の研究発表会を行います。ぜひおいで下さい。）



「先生が子どもになったの模擬授業」

子どもたちが、朝マラソンの始まる午前八時から下校の午後四時半まで、学習に、遊びに、メリハリある学校生活を送れるよう、保護者の皆さんに学校の取り組みに協力いただきたく、児童の実態について通信などでお知らせしながら、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」・「TV・ゲーム時間は一時間以内」・「親子のコミュニケーション」・「家庭学習の習慣」・「お手伝い」の取り組みをお願いしているところです。

九月二十四日実施の運動会での競技や演技の姿に、「生懸命さが伝わってきた。」と評価を受けた事は、これらの取り組みの成果が出てきていると思います。

これからも佐賀小学校へのご支援とご協力、よろしくお願いいたします。

「確かな学力」と
「豊かな人間性」を目指して
入野小学校長 山本 岩見

本校では、二〇〇二（平成十四）年度から三年間、文科省指定の「学力向上フロンティアスクール」として、その研究を行い、一定の成果を修める事ができました。また、実践を通して新たな課題も明らかとなり、教職員の共通認識のもと、引き続き高知県教育委員会から「学力向上フロンティア事業」の指定を受け、現在その取り組みを行っています。

◆「確かな学力」の育成

目の前の子どもたちが、進路を選択するとき、選択肢がたくさんあって欲しいと考え、そのための不可欠な基盤となる学力と位置づけています。

将来を見据えた「学力」を付けるためには、子どもたちに学年相応の力をきちんと保障していかなくてはなりません。

①「授業力」を磨く

「教師のレベル以上に子どもは伸びない」という事を念頭に置き、日々の教材研究や自己研鑽、校内での研究授業、そして先進校の実践などに学びながら、

教師としての授業実践力の向上を図っています。

また、あらかじめ出された「実践課題」に基づきレポートを作成し、それに基づいた意見交換会を年五〜六回行っています。



授業の様子

②基礎学力の定着のために

本校では、基礎学力の基をなす「読み、書き、計算」の習得に力を入れています

校時表の工夫

本校では、校時表の中に、読書、漢字、計算タイムを設定し、いわゆる「読み、書き、計算」の定着化を図っています。

読みについて

どの子も、どんな教科書でもすらすら読むことができる事を基本とし、各学年の目標や状況、場面に応じた読みができるように一時間一時間を大事にした取り組みを行っています。また、

読書好きな子どもにと、毎週水曜日の朝読書には、町内の有志の方々がゲストティーチャーとしてお越しくださり、児童に読み聞かせを行ってくれています。

漢字、計算のあゆみの発行

漢字の習熟を図るために、各学年とも、「書く」は前年度の新出漢字の八〇%、「読む」は今年度の新出漢字九〇%以上の習熟目標を設定し取り組んでいます。

また、計算では、各学年でどうしてもこれだけはクリアさせておきたい事項（例二年・九九三年・わり算）を設定して取り組んでおります。

そして漢字と計算については、「あゆみ」を発行しています。「あゆみ」には、実施日と問題数、子どもの自己評価、努力した事等を記載し、教師の一言を添え保護者に情報発信をし、確認印をもらっています。それを個人別のファイルに綴じ指導に活用しています。

③確かな学力に向けて

各教科九〇点以上を目指す

各学年とも、四教科の単元別テスト九〇点以上を目指す取り組みを行っています。表一は、一学期の結果です。表には、九〇点以上と八〇点以上の習得率

を記しています。二学期は、八〇点以上の九〇%達成を目指しています。

到達度把握検査(CRT)の活用

表二は、過去三年間の国語と算数のCRTの結果です。二教科とも右上がりに上昇し、二年連続全国平均を上回っています。

しかし、学年や領域別に見ると、課題も多く、「瞬間的な学力」ではなく、より確かに「定着した学力」への取り組みが課されています。

表1 1学期「単元別テスト」の結果(全校) (単位:%)

	国語	算数	社会	理科
90点以上	47.4	58.8	60.4	49.9
80点以上	78.9	82.5	83.3	79.9

表2 到達度把握検査(CRT)の結果

	03年度	04年度	05年度
国語	97.1	100.4	101.5
算数	99.6	103.7	108.1

学習規律の確立を

子どもたちが、授業がわかるためには、学び方を習得しなければなりません。板書の試写の方法や問題の書き方等「ノート指導」に取り組んでいます。

個人カルテの導入

子どもたちの学習状況を把握し、一人ひとりに応じた指導を行うために、学習状況を詳しく記載したカルテが必要になってきます。このカルテは、教師が日々の実践を振り返る資料にもなります。

◆豊かな人間性を育てるために

「人間性の豊かさ」を考えたとき、その豊かさを感じるのには自分でなく相手であります。そして何に感じるのかと言えば、言葉やちょっとした仕草や態度に感じるのではないのでしょうか。

本校では、「仲間づくり」に基本におきながら、学級集団を見直し、個の伸長を図っています。

縦割り班活動をおして

全校児童を十三班に分け、清掃活動や遠足など、五・六年生がリーダーとなって、協調性や思いやりの心を培っています。

道徳や人権教育を通して

道徳性や不合理や差別を許さない心や態度を育て、また生活科や総合的な時間を活用して、芋づくりや稲づくりなど、地域の方々にお世話になりながら、体験活動を行っています。

「社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書」を送付します。



所得税法の一部改正により、二〇〇五(平成十七)年分の所得の申告から、国民年金保険料を社会保険料控除として申告する際に、一年間に納付した国民年金保険料額を証明する書類の添付などが義務付けられています。

二〇〇六(平成十八)年分の申告に必要な「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は十一月月上旬に送付されます。この証明書には、二〇〇六(平成十八)年一月から九月までの間に納付された国民年金保険料額(口座振替者は十月二日引き落とし分まで)と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額を記載しています。

年末調整または確定申告の際には、この証明書や領収証書が必要となりますので、申告を行うまで大切に保管してください。

なお、二〇〇六(平成十八)年十月から十二月までの間に、本年初めて国民年金保険料を納付された方につきましては、この証明書の発送は二〇〇七(平成十九)年二月上旬の予定となっておりますので、ご了承ください。

さい。

この証明書に関するお問い合わせは、証明書表面に記載されたお問合せ先へお願いいたします。

証明書および領収証書を紛失された場合は、高知社会保険事務局幡多事務所までご相談ください。

お問い合わせ

高知社会保険事務局 幡多事務所
☎ 34-1616

現況届の提出が不要になります。

年金受給者は生存などの確認のため、一年に一回現況届の提出が必要でしたが、今年から住民基本台帳ネットワークシステムを活用して行うようになり、十二月生まれの方から原則として不要になります。

ただし、次の方はこれ以後も現況届が必要です。

① 社会保険庁で保有している本人基本情報(氏名、性別、生年月日、住所)と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民基本コードを確認できない方

- ② 外国籍の方
- ③ 外国に居住している方

また、現況届が不要な方でも、次の場合は該当の届出が必要です。

① 加給年金額を受けられている方は、「生計維持確認届」を出してください。

② 障害年金を受けられている方は、障害の程度を確認するために「診断書」が必要となります。

* 提出が必要な届出書については、社会保険業務センターから受給者の皆さんへ送付されます。

お問い合わせは「ねんきんダイヤル」へ！

年金に関する電話でのご相談については、「ねんきんダイヤル」をご利用ください。

○ 年金請求などの年金相談については…

☎ 0570-05-1165

○ 年金をお受けになっている方の年金相談については…

☎ 0570-07-1165

「ねんきんダイヤル」では、お客さまからの電話を全国の年金電話相談センターなどのうち、

回線のあいてるところにおつなぎします。

お客さまの通話料金のご負担については、一般固定電話の場合、接続先にかかわらず市内通話のみでご利用いただくことができます。

全国どこからでも市内料金で利用できますので、お気軽にご利用ください。

ねんきん相談

十一月九日(木)
十二月十四日(木)

午前10時から午後3時まで
場所 総合センター
一階 第一研修室
(役場佐賀庁舎前)

国民年金・厚生年金・船員年金などの公的年金で、障害・遺族・老齢等給付を含め、知りたいことがありましたら、どんなことでもかまいませんので、高知社会保険事務局が実施している年金相談をご利用ください。

相談に対応していただくのは年金相談専門員です。

お気軽にお越しください。
○ お問い合わせ
佐賀総合支所 町民課窓口係
☎ 55-3111(直通)

砂浜美術館2006・秋 潮風のキルト展

私たちの町には美術館がありません。
美しい砂浜が美術館です。

11月10日(金)～12日(日) 午前9時から午後4時まで

場所: 砂浜美術館(大方入野松原)

○お問い合わせ/NPO砂浜美術館事務局 ☎43-4915



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ⑧ ●

介護保険料 Q&A

今回は、65歳以上の方の介護保険料について、いくつかの疑問にお答えします。

質問

介護サービスを利用していなくても介護保険料を払わなければならないの？
また、納めた介護保険料は返してもらえないの？

答え

65歳以上の方の保険料は、黒潮町の介護サービスをまかなう大切な財源になっています。ですから、医療保険と同じように介護保険料をお返しすることはありません。介護保険は、助け合いの精神に基づく社会の仕組みです。どうぞご理解ください。

質問

介護保険料の納め方は選べるの？

答え

介護保険法で介護保険料の納め方については、特別徴収（年金天引き）と普通徴収（現金または口座振替）がありますが、対象者が決まっていますので、納め方を自分で選択することはできません。



質問

介護保険料はいつから納め始めるの？

答え

介護保険料は、65歳の誕生日の前日の属する月の分から納めます。40～64歳までの介護保険料は、医療保険料と合わせて納めていただき、65歳からは一人ひとりが医療保険料とは別に納めることとなります。

質問

所得が無い、または少なくとも介護保険料を払わなければならないの？

答え

所得が無い、または少ない方については、無理のないよう低い介護保険料になっています。また、今年度から、より所得に応じた額になるように所得段階を細分化しました。どうぞご理解ください。（詳しいことは、広報7月号に掲載しています。）

質問

介護保険料を納めないとどうなるの？

答え

滞納した期間によって違いがありますが、介護サービス利用料をいったん全額自己負担したり、黒潮町負担分が一部または全部差し止められたり、また、利用者負担分（費用の1割）が引き上げ（費用の3割）られたりします。

※介護は必要ない、介護サービスを利用するつもりはないと思われる方もおられるかもしれませんが、介護は助け合いの制度ということをご理解ください。また、介護が必要になってからでは遅いのです。介護保険料は必ず納付期限までに納めるようにしましょう。

○お問い合わせ 大方総合支所 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(直通)
佐賀総合支所 町民課 保険福祉係 ☎55-3112(直通)

健康カレンダー 健康で元氣なからだを目指しましょう！

大方地域

十一月中旬から十二月中旬までの健康に関する行事予定を表示しています。行事予定は変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

11月 日/曜日	内 容	実施場所・実施時間
17日(金)	大腸がん検診 大 容 器 回 収	中央地区(未受診者対象) 保健福祉センター 9:00まで
20日(月)	健 康 相 談	下馬荷集会所 9:30～10:30
21日(火)	献 血	大方漁協 田野浦支所 12:30～13:30 サンシャインポピー北側駐車場 14:15～16:30
22日(水)	献 血	保健福祉センター 9:00～12:30
	愛 育 相 談	大方くじら保育所 9:30～11:00
	健 康 相 談	入野本村集会所 9:30～10:30
24日(金)	健 康 相 談	奥湊川老人憩の家 13:30～14:30
27日(月)	大腸がん検診 大 容 器 配 布	西部地区(未受診者対象) 上田の口集会所 9:00～ 9:20 田野浦集会所 9:30～ 9:50
	愛 育 相 談	浜松保育所 9:30～11:00
29日(水)	健 康 相 談	大方橘川集会所 9:30～10:30
	3 歳 児 健 診	保健福祉センター ※13:00～13:30
30日(木)	大腸がん検診 大 容 器 回 収	西部地区(未受診者対象) 上田の口集会所 9:00まで 田野浦集会所
	健 康 相 談	早咲集会所 10:00～11:00

12月 日/曜日	内 容	実施場所・実施時間
4日(月)	1 歳 児 6 力 月 健 診	保健福祉センター ※13:00～13:30
6日(水)	健 康 相 談	上田の口集会所 13:30～14:30
7日(木)		浮津集会所 9:30～10:30
8日(金)		上川口浦集会所 9:30～10:30
11日(月)		大方橘川集会所 9:30～10:30
13日(水)	愛 育 相 談	保健福祉センター 9:30～11:00
14日(木)	健 康 相 談	有井川集会所 9:30～10:30

注) 表中の※印は、受付時間となります。

○お問い合わせ

大方総合支所 健康福祉課 保健衛生係 ☎43-2836(直通)
佐賀総合支所 健康対策課 保健係 ☎55-7373(直通)

■対象者

過去に石綿を製造し、または取り扱う作業に従事していた、事業場の廃業など何らかの理由により石綿健康診断を受診できない退職者に対して、無料で健康診断を実施します。

石綿(アスベスト)業務に従事していた方は、無料で特別健康診断が受けられます

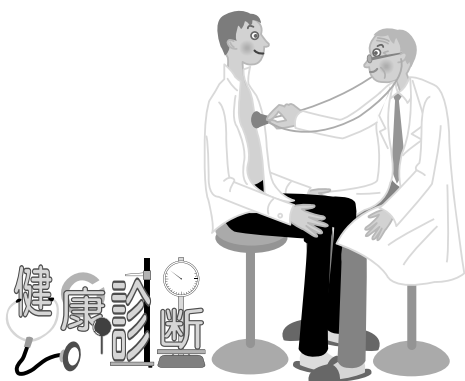
■受付期間

十一月一日(水) から
十一月十七日(金) まで

■受診できる医療機関

直接電話にてお申し込みください。

- ① 従事していた作業が特定できること。
 - ② 初回ばく露から十年以上経過していること。
 - ③ 以前石綿作業に従事していた事業場で石綿健康診断を受診できない状況にあること。
 - ④ 石綿に係る健康管理手帳を所有していること。
- ※お申し込みされた方全員が受診できるとは限りません。



○お問い合わせ先
高知労働局労働基準部 安全衛生課
☎088-885-6023

医療法人 健会 高知検診クリニック
〒780-0806
高知市知寄町2-4-36
☎088-883-9711

厚生年金 高知リハビリテーション病院
〒780-8040
高知市神田317-12
☎088-843-8220

財団法人 高知県総合保健協会
〒780-8513
高知市棧橋6-7-43
☎088-833-4649

11月 日/曜日	内 容	実施場所・実施時間
6日(月)	乳 児 健 診	デイサービスセンターこぶし 13:30~15:00
7日(火)	伊与喜ミニデイサービス	伊与喜集会所 9:30~11:00
13日(月)	鈴ミニデイサービス	鈴漁民センター 10:00~15:00
15日(水)	馬地ミニデイサービス	馬地集会所 9:30~11:00
20日(月)	横 浜 愛 育 相 談	佐賀老人憩の家 9:30~11:00
29日(水)	漁民センターミニデイサービス	漁民センター 9:30~12:00

12月 日/曜日	内 容	実施場所・実施時間
5日(火)	川奥ミニデイサービス 市 野 瀬 健 康 相 談	川奥集会所 9:30~11:00 市野瀬集会所 13:30~14:30
7日(木)	佐賀ミニデイサービス	総合センター 10:00~15:00
12日(火)	上分ミニデイサービス	上分集会所 9:30~11:00
18日(月)	横 浜 愛 育 相 談	佐賀老人憩の家 9:30~11:00



インフルエンザとは、ウイルスにより感染する流行疾患で、例年十一月から四月に流行します。いったん流行が始まると、短期間に乳幼児から高齢者まで多くの人を巻き込み、インフルエンザの大きな流行があった年には、死亡率が高くなるといった傾向までみられます。

インフルエンザのウイルスはA型、B型、C型に大きく分類され、主に流行を起こすのはA型とB型です。

症状としては、突然の三十九度以上の高熱、頭痛、のどの痛み、筋肉痛などがあります。また、鼻水や嘔吐、下痢など風邪と同じような症状がでることもあります。乳幼児や高齢者では肺炎や気管支炎を併発することがあり、重症化すると命にかかわることもあります。

インフルエンザとは

健康知恵袋

インフルエンザを予防しましょう



予防接種を受けましょう

予防の基本は、流行前に予防接種をうけることです。

予防接種のワクチンは、流行予測のウイルスの型を取り入れたものでつくられますので、インフルエンザにかかった場合でも重症化するのを防ぐことができます。

また、多くの人が予防接種を受けることで、地域での大きな流行を防ぐことができます。

予防接種は、高齢者については、法に定められた接種として受けられます。

乳幼児やその他の年齢の方については、任意での接種になりますので、病院で医師に相談のうえで接種をお勧めします。

その他の予防方法

■人の多く集まる場所への外出はなるべく控える

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人のセキ、くしゃみ、つばなどの飛沫と一緒に放出されたウイルスを呼吸により吸い込むことで感染します。

インフルエンザが流行してきたら、人の多い場所への外出を控えましょう。

■外出時にはマスクを利用し、室内は適度に加湿をする

空気が乾燥すると、インフ

ルエンザにかかりやすくなります。外出時にはマスクを利用し、のどの防御機能を保つことや、室内で加湿器などを使って適度な湿度(五十〜六十%)を保つことも予防に有効です。

健康管理をする

日ごろから十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、バランスよく栄養をとることも大切です。

手洗い・うがいをする

外からの帰宅時には、手洗い・うがいを心がけましょう。

かかってしまったら

早めの治療は、自分の体を守るだけでなく、人にうつさないという意味でも大切です。

薬の中には、インフルエンザにかかっている時には使用を避けなければならぬものもありますので、症状を抑えようとして自己判断で市販の薬や以前もらった薬などを服用することは避けましょう。

症状がある場合は、早めに医療機関を受診してください。

お問い合わせ

大方総合支所 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836 (直通)

佐賀総合支所 健康対策課 保健係

☎ 55-7373 (直通)

募集・お知らせ

募集期間

十一月六日(月) から
十一月三十日(木) まで

平成十九年成人式の 新成人代表者募集

若人の門出を祝福するため、成人式をふるさと総合センター大ホール(入野)にて、二〇〇七(平成十九)年一月三日(水)、午後十二時半から受付、午後一時半より式典を挙行いたします。そこで、式典の中で誓いのことば、記念品授与、花束贈呈をする方をそれぞれ募集いたします。

二十歳の記念になると思いますので、我こそはと思う方の応募をお待ちしています。

なお、応募者多数の場合は大方あかつき館にて抽選とさせていただきます。

※(旧佐賀町、旧大方町で行われていた成人式を今年から合同で行います。)

対象者

昭和六十一年四月二日から昭和六十二年四月一日生まれの方(黒潮町へ住所・本籍を有する方、大方中学校・佐賀中学校卒業生)

募集人数

三名(誓詞一名・記念品授

与(二名)・花束贈呈(一名))

募集期間

十一月六日(月) から
十一月三十日(木) まで

応募方法

お電話・FAX・メール可

お問い合わせ・応募先

黒潮町教育委員会 大方生涯学習係

TEL 43-2110

FAX 43-0222

佐賀生涯人権教育係

TEL 55-3190

FAX 31-4010

✉ kyoiku@town.kuroshio.lg.jp

「黒潮一番地自然体験学校」 コンニャクづくり体験

「なぶら(町内でまちづくり活動をしている団体)」では、例年、町内外の方たちを対象に自然体験学校を企画運営しています。

※(旧佐賀町、旧大方町で行われていた成人式を今年から合同で行います。)

昭和六十一年四月二日から昭和六十二年四月一日生まれの方(黒潮町へ住所・本籍を有する方、大方中学校・佐賀中学校卒業生)

天ぶら「山芋汁」など黒潮町でとれた素材を使った昼食を用意します。

自然に囲まれた中ノ川で手づくりコンニャクの素材な味わい

を楽しんでみませんか?
興味のある方は、ぜひご参加ください。

を楽しんでみませんか?
興味のある方は、ぜひご参加ください。

開催日時

十二月三日(日) 午前九時受け付け

集合場所

拳ノ川保育所駐車場

※中ノ川には、十分な駐車スペースがありません。当日は拳ノ川保育所からバスで中ノ川公会堂へ移動します。

中ノ川公会堂

開催場所

中ノ川公会堂

募集定員

三十名程度(小学生以上対象)

参加料

小学生千円・中学生以上二千元

参加料

小学生千円・中学生以上二千元

申込締切日

十一月二十四日(金)

集合・開催場所や移動方法など分からないことがあります。

自然に囲まれた中ノ川で手づくりコンニャクの素材な味わい

を楽しんでみませんか?
興味のある方は、ぜひご参加ください。

お問い合わせ・申込先

なぶら事務局

佐賀総合支所 総務課 総務係

TEL 55-3113

平成十八年度 第二回 夜のパソコン講座

日時

十二月六日(水) から八日(金)の三日間(午後六時から午後八時半まで)

場所

高知県立大方商業高校
北舎三階パソコン室

募集人数

三十名

内容

ワープロソフトの利用

(パソコンの基本操作から年賀状作成など。詳細は本校ホームページに掲載しています。)

申し込み

十一月二十一日(火)より、電話でのお申し込み(午前九時から午後五時まで)をお願いします。

お問い合わせ・お問い合わせ

高知県立大方商業高等学校

担当 伊与田友史

TEL 43-1079

http://www.kochinet.ed.jp/ogata-sho-hi

平成十八年度自衛隊 生徒募集案内

陸・海・空 自衛隊

入隊と同時に高等学校の通信制過程に入学し、生徒教育三年間終了時には高校卒業資格を取得できます。(給与/一五〇、二〇〇円(平成十八年四月一日現

在)

応募資格

平成十九年四月一日現在十五歳以上十七歳未満の男子で中学校卒業業者(見込みを含む)

受付期間

平成十八年十一月一日(水)

平成十九年一月九日(火)

第一次試験

平成十九年一月十三日(土)

第一次試験

細部不明な点は、ご遠慮なく

自衛隊高知地方協力本部四万十

地域事務所までお問い合わせく

ださい。

お問い合わせ・応募先

四万十市中村大橋通6-3-7

(トラヤビル3階)

TEL 35-3096



県民介護講座
(基礎講座・二日間コース)

高齢者介護についての基礎知識を学びませんか？
どなたでもお気軽にお申し込み、お問い合わせください。(参加費は無料です。)

実施日	時間	内 容	定員
11/30 (木)	10:00～12:00	介護にあたって (介護保険の上手な利用の仕方)	30名
	13:00～15:30	車椅子で生活を広げよう (車椅子の扱い方、移動、移乗)	
12/1 (金)	10:00～12:00	身の回りの介護(講義・実技)	
	13:00～15:30	高齢者の服薬について 介護者の健康管理	

場 所

四万十市社会福祉センター
(四万十市右山五月町8-3)

○お申し込み・お問い合わせ
高知県介護実習・普及センター
☎088-844-9271

Re・Beワークセミナー
(再就職準備セミナー)

育児や介護のために退職し、再就職を希望されている方を対象に、再就職への道を計画的に考えていくためのセミナーを開催します。

内 容

- ①実習「パソコン講座」インターネットを活用して職務履歴書を作ってみよう！」
- ②講義「職場で活きる！好感の持たれる話し方」コミュニケーションを広げる会話」
- ③講演および実習「働く上で知っておきたい労働条件・保険・税金」

日 時 十二月七日(木)

午前九時から午後四時まで

場 所

四万十市中央公民館

四万十市右山五月町8-22

参加料 無料

定 員 先着二十名

※無料託児があります。事前にお申し込みください。

○お申し込み・お問い合わせ

四万十市働く婦人の家

☎34-6299

〒787-0012

四万十市右山五月町8-32

財団法人「二十一世紀職業財団高知事務所」

☎088-823-2667

高知県
第五十一回高校美術展

県下各高校生たちの美術作品(絵画・彫刻・立体・デザイン・工芸など)を展覧します。
出展作品には、大方商業高等学校・大方高校美術部の生徒の力作も並びます。

会 期 へ地方展

十一月二十四日(金) から
十一月二十六日(日) まで

(最終日は午後一時まで)

場 所

ふるさと総合センター

黒潮町入野176-2

☎43-3369

○お問い合わせ

高知県教育委員会

☎088-821-4721

高知県立中村養護学校
からのお知らせ

「来て、見て、知って！」

公開授業ウィーク

高知県立中村養護学校は、小学部・中学部・高等部・訪問学級のある知的障害養護学校です。社会自立に向けて、いろいろな学習に取り組んでいます。

今回、地域の皆さんに、少しでも中村養護学校のことや子どもたちのことを知っていただきたいと考え、授業を一週間公開

することにしました。
ぜひこの機会に学校に来てください。元気いっぱいの子どもたちが待っています。

期 間 十二月四日(月) から

八日(金) まで

時 間 (月・火・木)

午前八時五十分から

午後三時半まで

(小学部は午後二時十分まで)

(水・金)

午前八時五十分から

午後二時三十分まで

場 所 高知県立中村養護学校

四万十市古津賀3091

○お問い合わせ

高知県立中村養護学校

四万十市古津賀3091

☎34-1511

☎34-1625

(担当 川村喜美・大崎珠紀)

「文化クラブ発表会
私たちの銀河鉄道」

中村養護学校文化クラブ発表会も今年で四回目を迎えました。歌や踊り、劇の大好きな生徒たちが、放課後の時間に一生懸命練習してきました。

今回は宮沢賢治原作『銀河鉄道の夜』を脚色し、生きることの意味を問いかけます。

皆さんもぜひ、会場においでいただき、生徒と一緒に銀河鉄

道を旅してみませんか？

日 時 十二月十七日(日)

開 場 午後一時半から

開 演 午後二時から

会 場 四万十市立文化センター

(入場無料)

駐 車 場 県立中村中高等学校

正面玄関前

(約六十台駐車可能)

※駐車場利用時間

十二時半から午後四時まで

大方くじら保育所
「いっしょに遊ぼう」

十月は、園外への散歩も取り入れ、自然の中で子どもたちの笑顔もたくさん見られました。今後も、できる限り自然に触れる体験を計画しています。

十一月の予定

八日(水) 園庭で遊ぼう

十五日(水) 散歩(木の実を見

つけに行こう)

二十二日(水) 愛育相談

二十九日(水) 園庭で遊ぼう

「一時保育」も行っています。

どうぞお気軽にお問い合わせ

ください。

○お申し込み・お問い合わせ

大方くじら保育所

☎44-1112

女性の人権ホットライン 強化週間(十一月十二日から二十五日)

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、「女性に対する暴力をなくす運動(毎年十一月十二日から二十五日の二週間)」期間中の取り組みの一環として、現在、社会問題となっている夫・パートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)やセクシャル・ハラスメント、ストーカー行為や離婚問題など、女性をめぐる人権問題に積極的に取り組むことを目的として、“全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間”を実施いたします。

同週間中は、相談期間の拡大(通常は休日を除く月曜から金曜まで午前八時半から午後五時十五分)および電話回線の増設を行うなどして、専用相談電話を通じて、法務局職員および男女共同参画社会推進委員(人権擁護委員)が相談に応じます。

実施期間

十一月十三日(月) から
十一月十九日(日) まで

時間

午前八時半から午後七時半まで

開設場所

高知地方法務局人権擁護課
(高知市小津町4-30)

取扱内容

ドメスティック・バイオレンス、セクシャル・ハラスメント、ストーカー、離婚問題、暮らしの悩みごとなど、女性をめぐる人権問題

その他

相談は無料、秘密は厳守します。

お問い合わせ

高知地方法務局 人権擁護課
☎088-822-3503

無料法律相談

主に暴力団などに絡む困りごとや悩みごとをお受けします。法律問題や、事件がらみなどでお困りの事がありましたらご相談ください。

日時

十二月七日(木)
午後一時から午後四時まで

場所

四万十市立文化センター
四万十市中村桜町2-1
☎35-4887

相談に応じる人

・高知県弁護士会所属民事介入暴力対策委員会 近藤啓明弁護士
・高知県警察本部暴力団対策課担当者

・財団法人暴力追放高知県民センター相談員

お問い合わせ

財団法人暴力追放高知県民センター
☎088-871-0002

石綿(アスベスト)救済法 遺族補償給付、特別遺族給付金の請求をしてください

石綿ばく露を原因とする疾病により死亡した労働者のご遺族で、遺族補償給付または特別遺族給付金の請求がお済みでない方は、高知労働局または四万十労働基準監督署にご相談ください。

特別遺族給付金の請求期間は、二〇〇九(平成二十一)年三月二十六日までです。

お問い合わせ

高知労働局 労働基準部 労災補償課
☎088-885-6025
四万十労働基準監督署
☎35-3148

保育士登録はお済みですか?

十一月二十八日までに保育士登録が済んでいない場合には、「保育士」として業務を行うことができなくなります。

児童福祉法の改正により、二〇〇三(平成十五)年十一月二十九日から、従来の「保育士(保母)資格証明書」では保育士として業務を行うことができなくなりました。

今後、保育士として業務を行う方は、都道府県知事に登録し保育士証の交付を受ける必要があります。

○現在、保育士として業務を行っている方は、保育士登録をする必要があります。

○今後、保育士として業務を行うおうと考えている方は、業務に就く前までに保育士登録をしておく必要があります。

【注意】

※保育士登録は、「保母」から「保育士」への名称変更に伴うものではありません。

※保育士登録をしなくても、保育士となる資格を失うことはありません。

◆申請の方法など

はじめに「保育士登録の手引き」を取り寄せてください。

保育士登録を行う際、申請書類の添付された「保育士登録の手引き」が一人につき一部必要です。

〈取り寄せ方法〉

①返信用封筒(角型二号)にご自分の住所・氏名を記載し、返信用切手(一部必要な場合は二〇〇円分、二部必要な場合は二四〇円分、三・五部必要な場合は三九〇円分)を貼る。

②登録事務処理センター宛ての封筒の表面に赤字で「保育士登録の手引き〇部請求」と大きく明記し、①で作成した返信用封筒を同封して郵送する。
到着後、速やかに「保育士登録の手引き」をお送りします。

◆登録手数料 四二〇〇円

○受付・お問い合わせ

都道府県知事委託 保育士登録機関 登録事務処理センター
〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1-1-1
1青山Sビル
登録案内専用電話
☎03-5485-3150

(土・日・祝日を除く午前九時から午後五時半まで)
音声案内およびFAX
☎03-5485-3133(終日)

ホームページ

<http://www.hoikushi.jp/>
(保育士登録の詳細について紹介しています。)

—11/1～10 踏切事故防止キャンペーン—

踏切の手前で止まって安全確認!
Stop the 踏切事故

踏切内に閉じ込められたら

●しゃ断棒は上方に跳ね上がります。そのまま前進して脱出してください。脱出したら近くの駅・警察へ連絡してください。



お問い合わせ先
農業委員会事務局
☎ 43-1888

年末の農地の権利移動や転用に関する許可申請は、県の締め切りが他の月より早めに設定されるため、本年中の農業委員会での受け付けは、左記の期日が最後となります。

これらの締め切り日を過ぎてからの申請は、翌年一月に審査することになりますので、ご注意ください。

・農業委員会事務局受付
十一月十五日(水)

・佐賀総合支所海洋農林課受付
十一月十日(金)

農業委員会よりお知らせ



お問い合わせ先

佐賀総合支所 海洋農林課 農林係
☎ 55-3115 (直通)

大方総合支所 産業振興課 農林振興係
☎ 43-1888 (直通)

幡東森林組合 佐賀本所
☎ 55-2021 (直通)

幡東森林組合 大方支所
☎ 43-1957 (直通)

高知県幡多林業事務所
☎ 35-5977 (直通)

詳しくは、町役場、森林組合、最寄りの県林業事務所にお問い合わせください。なお、詳しい内容について、高知県林業振興課ホームページ (<http://www.pref.kochi.jp/rikyou/index.html>) でも掲載しています。

「今年十月一日より、「合法伐採証明」の無い木材は、市場などへの出荷ができなくなりまします。」

合法性証明の無い木材は市場などでの販売ができません!

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑮	20	21	22	⑮	24	25
⑮	27	28	29	30		
12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9

佐賀図書館

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	㉓	24	25
26	㉗	28	29	30		
12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9

大方図書館

(○の日は休館日です。)

図書館カレンダー



今月の一冊：さがしてあそぼう 冬ものがたり

もじのないこの絵本をひらくと、ドイツの町が広がります。たくさんの主人公たちがいます。この絵本でお話を見つけてみませんか?

ちいさなお子さんから楽しめます。



8・9月貸出ベストランキング

※(カッコ)内は所蔵館

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. まほろ駅前多田便利軒 | 三浦しをん/著 (大方・佐賀) |
| 2. 風に舞いあがるビニールシート | 森絵都/著 (大方・佐賀) |
| 3. 赤い指 | 東野圭吾/著 (大方・佐賀) |
| 宮廷女官チャングムの誓い上下 | ユ ミンジュ/著 (大方) |
| 5. ブラッドタイプ | 松岡圭祐/著 (大方) |
| 6. ハリー・ポッターと謎のプリンス上下 | J.K.ローリング/作 (大方2・佐賀) |
| 8. 町長選挙 | 奥田英朗/著 (大方・佐賀) |
| 9. 棄霊島 下 | 内田康夫/著 (大方・佐賀) |
| 終末のフール | 伊坂幸太郎/著 (大方) |
| 初恋 | 中原みすず/著 (大方) |
| 陽気なギャングの日常と襲撃 | 伊坂幸太郎/著 (大方) |

返却するとき

☆貸出しし・返却・図書カードの発行は受付で行っています。

※新しい本の中には、貸出開始日から二カ月間は一週間の貸出期間となる場合もあります。

◇貸出冊数・期間

本 一人五冊・二週間

雑誌 一人三冊・二週間

ビデオ・CD・DVD 一人二点・一週間

◇開館時間
(大方図書館)

火・金

午前10時～午後六時

土・日

午前10時～午後五時

(佐賀図書館)

月・金

午前10時～午後六時

土

午前10時～午後五時

◇お問い合わせ
大方図書館
☎ 43-2110
佐賀図書館
☎ 55-3110
<http://akatsuki-town.kuchino.jp>

海拔表示板を作ろう！

三浦小学校の六年生が防災学習の一環として、自分たちの地域の地盤の高さの測量を行い、海拔表示板を設置しようとして取り組んでいます。

九月二十八日に事前学習として、地元の民生児童委員であり、この学習の提案者の金子繁昌さんから、南海地震をはじめ、台風などの自然災害についてお話をいただきました。



その後、自分たちの地域は津波災害に対してどのような「弱さ」を持っているのかを知るため、二班に別れて「レベル」という測量の機械を使って、高さの計測を行うことにしました。



表示板を設置するという目的があるため、まずは人目に付く場所を選びました。

そして、すでに測量された高さの基準点をもとに、みんなが選んだ場所の高さをレベルの望遠鏡を何人かでのぞき、計測した高さが間違いないかを確認しながら作業を進めました。



測量が終わり、学校に帰ると、今度は海拔表示板のデザインの下書きをしました。やなせたかしさんがデザインした高知県の

防災キャラクターを使ったり、黒潮町の町章をいれるなど、みんな思い思いのデザインに励みました。

翌二十九日、今度は着色作業です。文字に縁取りをすることや、文字を大きくするなど、どんなにすれば見やすいかを考えながら鮮やかな色を使い、みんな上手に作品（次ページをご覧ください。）を仕上げました。今後は、これらの作品を使って、実際に海拔表示板を作成・設置することを計画しています。



●このページの記事に関するお問い合わせ、南海地震の体験談のご連絡は、以下にお願いします。

【大方総合支所】
 総務課 消防防災係
 ☎43-2112(直通)
 【佐賀総合支所】
 総務課 総務係
 ☎55-3113(直通)



秋の火災予防運動が実施されます。



【実施期間】

全国統一で、11月9日から11月15日までの7日間です。（11月9日は119番にちなんでいます。）

【統一標語】

『消さないで あなたの心の 注意の火』

これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。秋の火災予防運動は、住民の皆さんに防火に対する意識を一層高めていただき、火災の発生を防止することにより、尊い生命や貴重な財産の損失を防ぐことを目的として、毎年実施しているものです。また、下のグラフは、2004（平成16）年中に全国で発生した火災による死者の状況をまとめたものです。グラフを見ると、1月から3月および12月は月ごとの死者数が200人を越えており、火を扱うことの多い冬場に火災による死者が集中していることがお分かりいただけると思います。皆さん、火の取り扱いには十分注意しましょう！

月別の火災による死者発生状況（2004（平成16）年中）





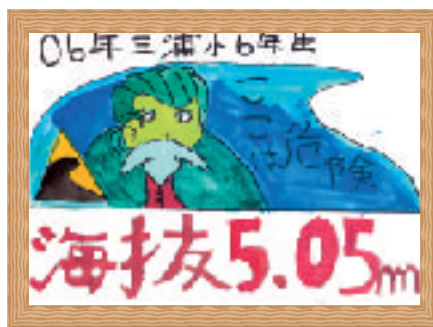
野村 美友さん



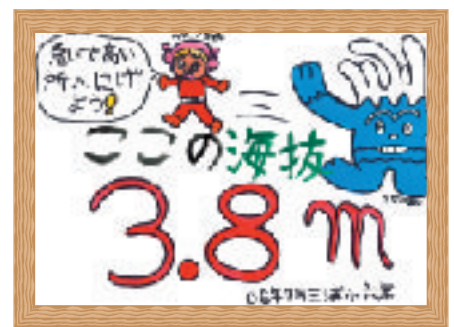
平田 仁さん



吉福 史哉さん



山本 海斗さん



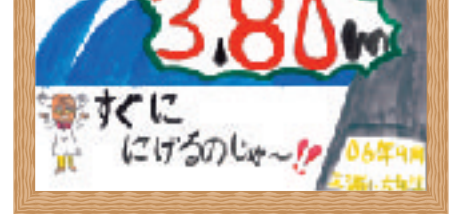
松本 名月さん



井上 優奈さん



西脇 翔さん



吉井 成美さん



長崎 静奈さん



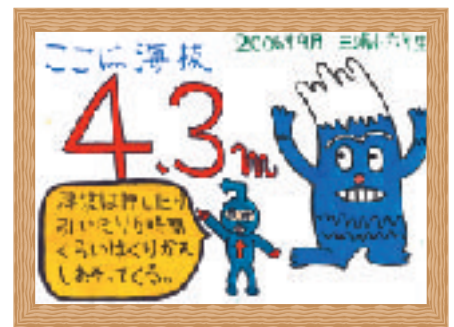
野村 美妃さん



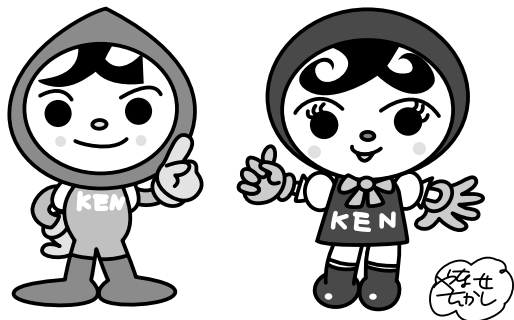
吉本 早織さん



田中 葵さん



山本 彩加さん



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

育てよう一人一人の人権意識
「思いやりの心・かけがえのない命を大切に」
「第五十八回人権週間」十二月四日(月)から十日(日)
基本的人権

「世界人権宣言」は、基本的人権および自由を遵守し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々が達成すべき共通の目標として、一九四八(昭和二十三)年十二月十日の第三回国際連合総会において採択されました。

法務省および全国人権擁護委員連合会は、従来から、関係機関などの協力を得て、「人権デー」を最終日とする一週間(十二月四日から十日まで)を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めております。

黒潮町でも「人権週間」期間を中心に各種行事を予定しています。皆さんの積極的な参加をお願いします。

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の十二月十日を「人権デー(Human Rights Day)」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

「人権週間」行事予定

人権作品展

黒潮町教育委員会では、あらゆる差別をなくすための取り組みの一つとして、黒潮町内の児童・生徒から人権作品(絵画・ポスター・書道・人権作文・詩)を募集し、「人権週間」期間を中心に、大方あかつき館で作品を展示しています。

展示期間

十二月二日(土)から十日(日)まで(午前九時から午後五時まで)

場所

大方あかつき館町民ギャラリー

人権週間記念講演①

日時

十二月五日(火)

受付 午後七時

講演 午後七時半から
午後九時まで

場所

大方あかつき館レクチャーホール

演題

今、東アジアの平和と人権を考える

講師

金 英丸さん

平和資料館・草の家事務局長、
高知短期大学・高知大学非常
勤講師(平和学)

人権週間記念講演②

日時

十二月八日(金)

受付 午後七時

講演 午後七時半から
午後九時まで

場所

佐賀町民館

演題

近世部落の人びとが果たした役割

講師

斎藤 洋一さん

(財)信州農村開発研究所

特設人権相談所開設

高知地方法務局中村支局と中村人権擁護委員協議会による特設人権相談所が開設されます。どうぞお気軽にご利用ください。

い。

(大方地域)

日時

十二月四日(月)(午後一時から午後三時まで)

場所

保健福祉センター(大方庁舎前)

(佐賀地域)

日時

十二月二十日(水)(午前十時から午後三時まで)

場所

総合センター(佐賀庁舎前)

○お問い合わせ

大方総合支所 住民課 人権係

☎ 43-2800(直通)

佐賀総合支所 町民課 人権係

☎ 55-2108(直通)

人権擁護委員はあなたの身近な相談パートナーです。

人権擁護委員をご存知ですか。地域の住民のみなさんの人権が侵されないように絶えず見守り、もし、人権が侵されたときには法務局と連携して、救済のための適切な措置を採るとともに、人権尊重思想をご理解いただくための活動をしています。

困りごとや悩みごとがありましたら、お気軽に人権擁護委員にご相談ください。費用は無料で、相談内容の秘密は厳守します。

氏名	住所	電話番号
澤田 君代	伊田	44-1998
田辺 孝	口湊川	43-1688
堀野 登子	入野	43-3437
野並 佳子	下田の口	43-3607
大石 正幸	荷稻	55-7447
池本 美恵子	熊井	55-2431

ご家庭の水道工事は黒潮町指定の事業者で！

配水管から分岐して、家庭まで引き込まれた給水管や蛇口などを「給水装置」と言います。給水装置の工事や修繕（簡単な蛇口の取替えなどは除きます）は、水道法により「指定給水装置工事事業者」以外が行うことはできません。ご家庭の水道工事を行うときには、下記事業者へお申し込みください。

黒潮町指定給水装置工事事業者一覧表

2006(平成18)年10月1日現在

	事業者名	住 所	電話番号		事業者名	住 所	電話番号
黒 潮 町	前 田 電 工	入野1574	(0880) 43-1149	四 万 十 市	溝 渕 設 備	中村山手通22	(0880) 34-3734
	タカハシ水道設備	上田の口1578	(0880) 43-1936		ヨ コ ヤ マ 産 業	中村一条通4-1-14	(0880) 34-7399
	吉本水道工務店	入野544	(0880) 43-2024		(有)山 下 建 設	竹島3336	(0880) 33-0653
	平 野 住 設	伊田2100	(0880) 44-1513		山 本 住 研	鍋島1235-1	(0880) 33-1339
	道倉水道工務店	浮鞭3558-8	(0880) 43-2096		(有)西 南 設 備	小筑紫町福良4-1	(0880) 67-0304
	大方設備センター	入野769	(0880) 43-1420	宿 毛 市	(有)宿毛水道工業	平田町戸内2085-1	(0880) 66-1930
	小松メンテナンス	入野5196-70	(0880) 43-4522		(有)アクア・サワダ	中央3-6-16	(0880) 63-2541
	(株)中 村 住 設	出口372-2	(0880) 43-0211		関西水道工事店	西町3-1-2	(0880) 65-5840
	河 野 電 気 設 備	入野2878	(0880) 43-1022		(有)上岡水道工事	山奈町山田1031-2	(0880) 66-0643
	拳 ノ 川 住 設	拳ノ川1781	(0880) 55-7371		大町 沖 の 島 水 道	弘見1102-1	(0880) 73-1350
	谷 口 水 道	佐賀2773	(0880) 55-2316	四 万 十 町	(有)横山建材店	琴平町3-15	(0880) 22-3608
	西部緑化建設(株)	熊井245	(0880) 55-2435		(有)岩 本 商 店	榊山4-10	(0880) 22-1165
	山 本 建 設(株)	佐賀2988	(0880) 55-3141		是 信 電 設(株)	本町9-3	(0880) 22-1006
	(株)土 居 建 設	伊与喜43-5	(0880) 55-2133		(株)日化住宅機器	本町9-5	(0880) 22-0407
	(有)弘 瀬 建 設	佐賀1990	(0880) 55-2121		光 工 務 店	串本町5-1	(0880) 22-1386
四 万 十 市	(有)西 部 総 建	伊与喜38-2	(0880) 55-2825	大 町	武 内 産 業(有)	田野々450	(0880) 27-0246
	(有)タ 部 設 備	不破2050-12	(0880) 37-3383		(有)桑 原 水 道	北琴平町10-8	(0880) 22-1163
	(有)カキタ二設備	下田4057-2	(0880) 33-0156		いの町 (有)伊 藤 水 道	枝川4-1	(088) 892-5039
	(有)大杉設備工業	古津賀1842-8	(0880) 34-2324		高 東 邦 工 業(株)	鴨部3丁目28番15号	(088) 843-6511
	(有)大 同 設 備	中村新町5-10	(0880) 35-4879		(有)スズキ設備工業	福井扇町8-22	(088) 875-7100
	(有)平 野 水 道	中村小姓町18	(0880) 35-2316	知 市	大 都 工 業(株)	升形9-47	(088) 822-4336
	(株)四電工中村営業所	中村丸の内1828-8	(0880) 34-1331		朝 比 奈 設 備	神田2393-6	(088) 833-8944
	福 永 工 業	中村大橋通6-5-1	(0880) 35-5995		大 一 設 備(株)	大膳町6-2	(088) 822-0543
	森下住宅器機	右山天神町1-20	(0880) 34-4855		(株)濱田水道工業	南ノ丸町5-7	(088) 831-0270
	(株)奥 宮 工 業	具同7361-5	(0880) 37-5151		(株)日 東 水 道	塩屋崎町1丁目12-6	(088) 832-6084
	野村企画設備	渡川3-10-20	(0880) 37-3173		四国水道工業(株)	鴨部1丁目2番8号	(088) 844-4212

月	日		当番店（大方地域）		当番店（佐賀地域）	
	自	至				
10	2~8		大方設備センター	道 倉 水 道	山 本 建 設(株)	西部緑化建設(株)
	9~15		小松メンテナンス	中村住設大方営業所	(株)土 居 建 設	拳 ノ 川 住 設
	16~22		タカハシ水道設備	前 田 電 工	(有)弘 瀬 建 設	谷 口 水 道
	23~29		平 野 住 設	吉 本 水 道	山 本 建 設(株)	西部緑化建設(株)
	30~31		大方設備センター	道 倉 水 道	(株)土 居 建 設	拳 ノ 川 住 設
11	1~5		大方設備センター	道 倉 水 道	(株)土 居 建 設	拳 ノ 川 住 設
	6~12		小松メンテナンス	中村住設大方営業所	(有)弘 瀬 建 設	谷 口 水 道
	13~19		タカハシ水道設備	前 田 電 工	山 本 建 設(株)	西部緑化建設(株)

水道給水工事指定店当番一覧表

当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応いたします。

大方地域				佐賀地域			
店 名	電話番号		住 所	店 名	電話番号		住 所
大方設備センター	43-1420	43-1483	入野769	拳 ノ 川 住 設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
小松メンテナンス	43-4522		入野5196-70	西部緑化建設(株)	55-2435		熊井245
タカハシ水道設備	43-1936	43-2061	上田の口1578	谷 口 水 道	55-2316		佐賀2773
(株)中村住設大方営業所	43-0211	44-1117	出口372-2	(株)土 居 建 設	55-2133	55-3388	伊与喜43-5
平 野 住 設	44-1513	43-1546	伊田2100	(有)弘 瀬 建 設	55-2121		佐賀1990
前 田 電 工	43-1149		入野1574	山 本 建 設(株)	55-3141	55-2382	佐賀2988
道倉水道工務店	43-2096		浮鞭3558-8	○お問い合わせ 大方総合支所 健康福祉課水道係 ☎43-2114（直通） 佐賀総合支所 建設課水道環境係 ☎55-3700（直通）			
吉本水道工務店	43-2024		入野544-4				

黒潮町の町章が告示されました。



最優秀賞に選ばれたのは、愛知県の田中さんの作品です。

～図案の解説～

昨年、大方町・佐賀町合併協議会において黒潮町の町章デザインを募集したところ、全国から百七十作品もの応募がありました。その中から選考された最優秀作品は、補正作業や類似作品の調査を経て、二〇〇六（平成十八）年九月六日付けで告示、正式に町章となりました。

今後、道路の標識や各種証明書、図書カードなどに用いられる予定です。

○お問い合わせ

企画振興課 行政人事係
☎ 43-4500（直通）



西村 心花ちゃん
〈平成18年3月21日生まれ〉
すくすく大きくなってね。



濱口 佳恵良ちゃん
〈平成17年9月21日生まれ〉
ニコニコ笑顔でいてね♡



明神 風砂くん
〈平成16年9月15日生まれ〉
大きくたくましくなれ!



竹中 楓ちゃん
〈平成17年8月26日生まれ〉
生まれてきてくれてありがとう。



西嶋 瞳ちゃん
〈平成16年10月15日生まれ〉
明るく元気に育ってね。



上田 美海ちゃん
〈平成16年6月28日生まれ〉
素直な子になってね。



松本 真弥ちゃん
〈平成16年4月8日生まれ〉
きょうだい仲よく元気にね。



山中 こころ子ちゃん
〈平成16年1月6日生まれ〉
思いやりのある子に育ってね。

町内（大方くじら保育所・佐賀老人憩の家）で実施されている『愛育相談』で出会ったかわいらしい元気な子どもたちをママからのメッセージと一緒にご紹介します。

くろしおっ子を紹介します!



編集子



幡多に大学をつくる会は、十年以上前にも活動を行っていましたが、高知工科大学設置の動きと時を同じくしたため、活動が中断した経過があります。しかし関係者の、「幡多に大学を」という熱意が、再び会の結成をもたらしました。

優秀な子どもたちが、この地で大学教育を受けられないばかりに都会に出て行く、親元を離れることによる経済的負担から進学を断念する、そんな場面を幾度も見てきた、その無念を何とかしたいという人々が、この会を支えています。

以前の会の目的は大学機関の誘致が目的でしたが、現在は、幡多地域でも大学教育を受けられる「仕組み」をつくることにあります。

遠隔地にあっても臨場感あふれる授業を受けられる教材も登場してきています。

IT機器を駆使すれば、「幡多に大学を」ということは実現不可能な話ではないでしょう。

「ずっと大学で学びたかった。でも通えないので叶わなかった。死ぬまでに夢を叶えたい。」会場で発言した六十歳の女性と、同じ思いを持った方も多いのではないのでしょうか。

(ほ)